

日本の山々 = 信仰の山から娯楽の山へ =

令和5年11月26日

昭島稲門会総会

秋山和紀（昭和44年 政治経済学部卒）

## 日本古来の山岳信仰（世界でも非常に珍しい）

里山は水と食料を与える尊い存在と高山への畏怖

水分神(みくまり)

大和三山、白山

山の神(神奈備)

三輪山、大峯山

火山への信仰

富士山、鳥海山、阿蘇山

他界信仰(死者が集う) 恐山、月山、立山、熊野三山

## 仏教(密教)伝来による山岳修行

高野山の真言密教と比叡山の天台密教

日本古来の山岳信仰と密教の山岳修行が融合し修験道が成立

## 修験道の特徴

山で修行し靈力を身に付けて『験力』を得る・・修験者

自然の仕組みを観察し実用的な知恵と技を獲得

半僧半俗で山で会得した技術を村民に伝える

## 修験道の神

山の神は仏の姿をして現れた『権現』であると崇拜

葦王権現、熊野権現、立山権現、羽黒権現、飯縄権現

## 修験道の開祖

奈良時代の役ノ小角(えんのおずぬ)葛城山、大峯山で修行

## 修験道の歴史

平安・室町 貴族が後ろ盾に 吉野金峰修験、熊野修験

戦国期 武家が後ろ盾に 修験道の組織化

本山派: 聖護院門跡 大峯山南部を拠点

当山派: 真言宗醍醐寺 大峯山北部を拠点

江戸時代 修験道法度を制定し山岳修験を制約

修験者は里に定住し民衆の中に入る

『講』を組織し山岳信仰と娯楽要素が融合

大峯講、富士講、出羽講、大山講、三峯講、御嶽講

**明治維新 修験道廃止令、神仏分離、廃仏毀釈により打撃**

**修験道の拠点**は山の神を祀る『権現』から神道の神を祀る神社、または天台宗、真言宗の寺院に

**高尾山 飯縄大権現から真言宗薬王院有喜寺**

**御嶽山 蔵王大権現から大麻止乃天神社に**

**後に武蔵御嶽神社に改称**

**日本の山々は大半が修験者によって開かれてきたが、明治維新により神仏習合の修験道は弾圧され形を変えて、山岳信仰を続け、戦後徐々に復活している**

## 近年の多様化する山の楽しみ

明治時代に、英国人鉱山技師ウィリアム・ゴードン(日本アルプスの命名者)や宣教師ウォルター・ウェストン(日本アルプスの著書)により西洋式の近代登山が紹介された

その後、未登頂の絶壁の登攀が競われるようになる。

最近では、山岳耐久レースが実施されている

奥多摩 71.5km(24Hr) ハセツネカップ 1993年～

トランスジャパンアルプスレース(8日間) 2002年～

山道を走るトレイルランニングも各地で盛んに実施されている

## 百名山のブーム到来による山の賑わいの復活

NHKBS の放映を契機に日本百名山を目指す中高年

登山者が急増⇒ツアー登山が生まれる

『日本百名山』 深田久弥が 1964 年に刊行

## 山歩きの魅力と楽しみ

ご来光・・・山岳信仰の名残り

富士山・・・崇高な姿に畏敬の思い

雄大な山岳風景・・・日本アルプスなどの高山

緑と花の豊かな自然・・・低山から高山まで

# ご来光

大峯山 八経ヶ岳



北アルプス 餓鬼岳



南アルプス 聖岳



富士山 山梨 ミツ峠から



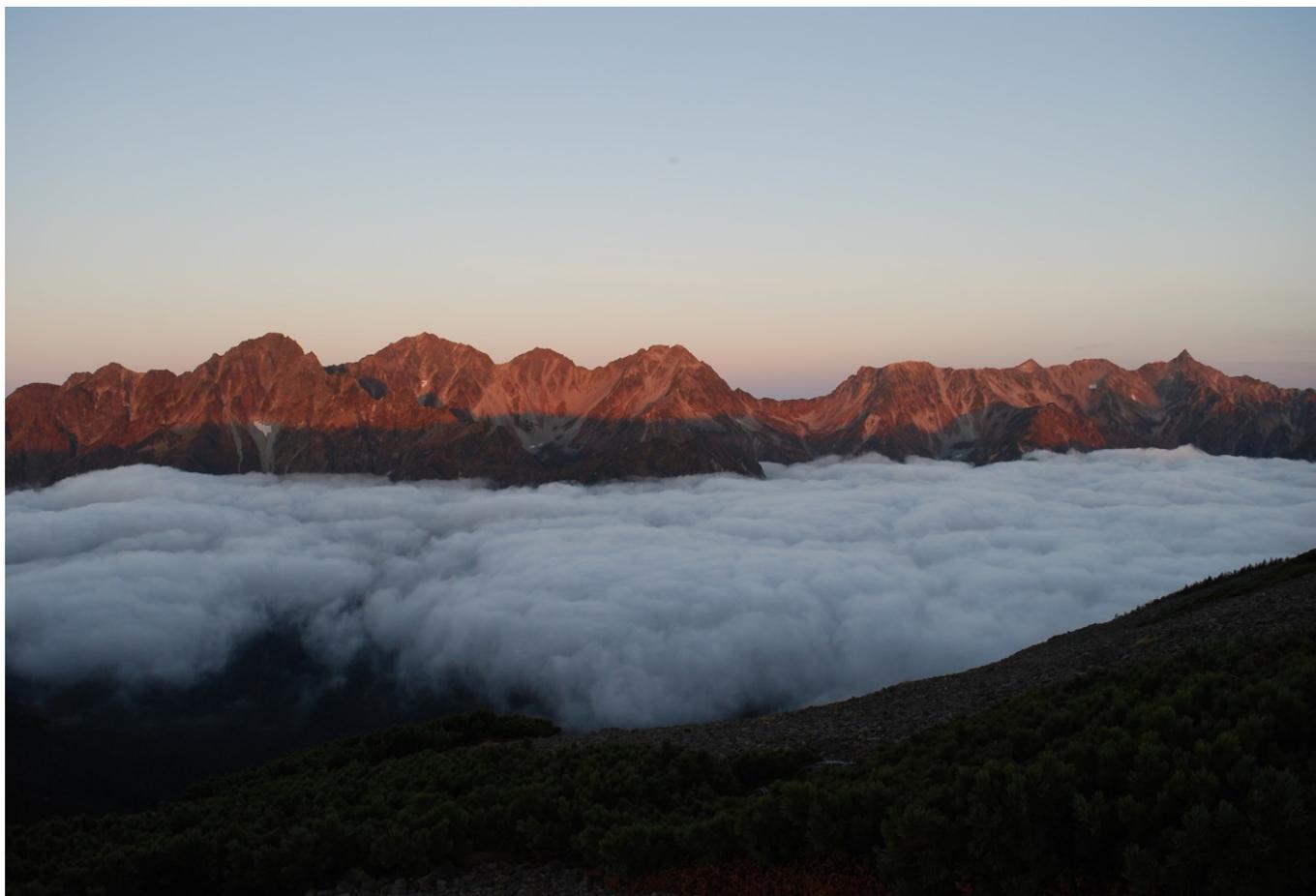
東京 陣馬山から



上野原 八重山から



山岳風景 北アルプス 槍ヶ岳～穂高岳連峰 蝶ヶ岳から



北アルプス 劔岳 大日岳から



南アルプス 甲斐駒ヶ岳 小太郎尾根から



## 多摩の自然

白岩滝 日の出町



七代ノ滝 青梅市御岳山



弘沢ノ滝 檜原村



天狗ノ滝 檜原村



## 多摩に咲く山野草

御岳山 レンゲショウマ



御岳山 ヒメレンゲ



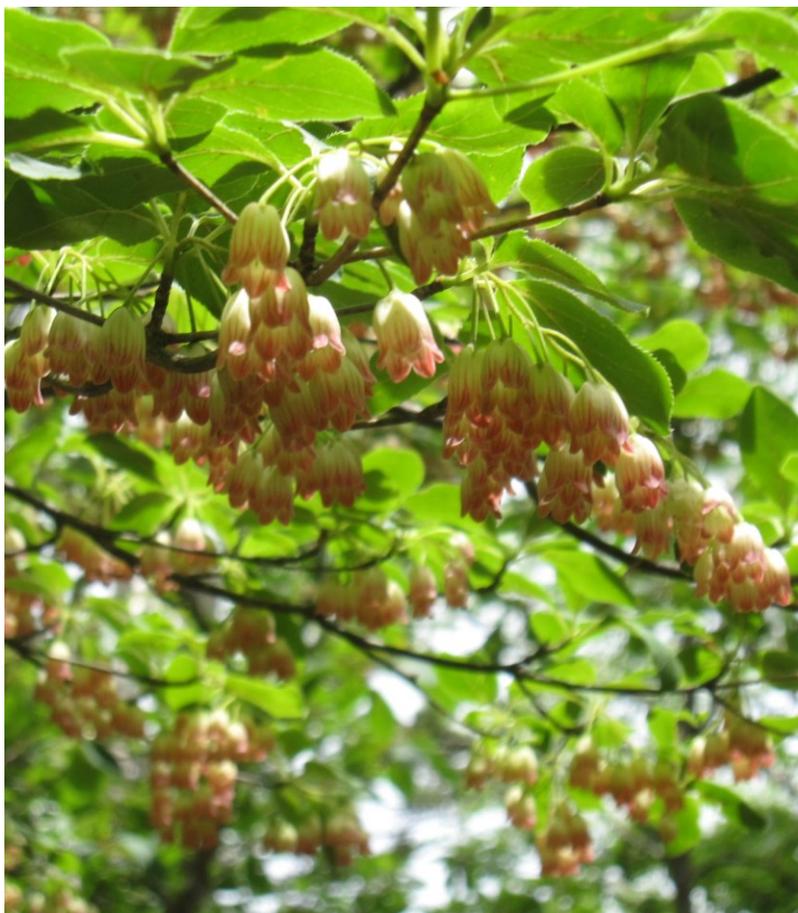
御前山 クサタチバナ



三頭山 ホツツジ



三頭山 サラサドウダンツツジ



滝山城址 キンラン



小峰公園 イチリンソウ



小峰公園 ヤマルリソウ

